

[横浜市陶芸センター]
 令和6年度業務計画及び収支予算
 [シンリュウ株式会社]

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業
 を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市陶芸センター
所在地	横浜市中区本牧三之谷 59-3
構造・規模	木造平屋建て及び登り窯1棟(別棟)
敷地・延床面積	延床面積 396 m ² 登り窯延床面積 60 m ²
開館日	平成5年8月

2 指定管理者

法人名	シンリュウ株式会社
所在地	埼玉県朝霞市上内間木 514-2
代表者	小澤 忠
設立年月日	平成2年4月26日
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜市陶芸センターの役割は陶芸を通して、あらゆる世代が活躍できる魅力あるまちづくりに寄与していくことです。未来に向けた新しい陶芸センターのあり方として、陶芸文化発信・拠点となり地域の活性化につなげる役割を担うため、市民が陶芸に親しむ機会を提供するとともに、市民の作陶技術向上の支援を行うことにより、陶芸の普及を図ることです。安定的管理運営を前提とし、これまでの運営経験を活かしながら様々なニーズに合ったきめ細かな対応を行います。そのために次の4つの方針で横浜市陶芸センターの管理運営に取り組めます。

1. 作陶講座を常に充実・向上させる

限りあるスペースを最大限活用しながら、ニーズに合わせた講座開催を行います。講座ごとに改善点を見直し、より多くの方に陶芸に親しむ機会を提供します。初めて陶芸を体験する方に

に向けた講座、より本格的な陶芸を学びたい方に向けた専門講座、全国陶芸産地の粘土・釉薬・焼成方法を取り入れた全国のやきものを楽しむ講座等、システム作りに努め、指定期間を通じて、常に講座内容の充実・向上を目指します。

2. 陶芸知識の基地化、次世代育成の支援を推進する

陶芸文化の拠点として、SNS を活用しながら解かりやすい陶芸知識の発信や、陶芸ライブラリーの充実（陶芸図書、デジタルアーカイブ）、子ども、陶芸愛好家・指導者・作家等の支援、親子陶芸教室、要望に応じた団体教室の開催が考えられます。また、招待作家講座（現在活躍している陶芸家を招いた講座）を開催し、陶芸の新しい時流を感じて頂き、施設スタッフも含めた施設の活性化を推進します。

3. 地域社会との連携に取り組む

陶芸祭や共催企画により、隣接している三溪園や本牧市民公園、地域の商店街と連携し、地域の活性化に努めます。また、近年増加している災害に対応するため、緊急時の防災対策についても近隣施設、地域と連携しながら、安全・安心して作陶できる環境に取り組めます。

4. 環境に優しい施設を目指す

自然環境に配慮した取組みを行います。不良在庫を減らすための期間限定粘土・釉薬の予約販売の促進や、酸化金属を含む釉薬を下水に流さない取組み、大量の産業廃棄物となる使用済粘土のリサイクル等に取り組めます。

(2) 令和6年度の業務の方針

ア 全体について

令和6年度の業務方針は、令和5年度に取り組んだ様々な事業運営の改善点を検討し、さらに充実した事業運営に取り組めます。また、昨年度より引き続き、陶芸人口裾野拡大と作陶活動拠点施設として、あらゆる世代ニーズに対応するため様々な講座を開催し、市民が陶芸に親しむ機会を提供します。

陶芸祭等により知名度向上に努め、一般市民、地域への開放をより進め「陶芸文化の発信役」をさらに推進します。近隣施設や地域団体と連携し、地域に根差した施設を目指します。

また、陶芸センターの特性である豊かな自然環境に囲まれた立地を活かした管理運営に取り組めます。

イ 使命1 陶芸に親しむ機会を提供する

若年層や初心者等を対象とした講座を多く実施することで、幅広い年齢層の市民に親しまれる地域の施設となることを目指します。

粘土の柔軟性や自然素材に直接触れる事で、陶芸を通じて、子供の豊かな心を育む支援を提供します。

ウ 使命2 市民の主体的な作陶活動を支援する

全国の陶芸産地の粘土・釉薬・焼成方法を新たに取り入れることで、市民の主体的な作陶活動の支援を進めます。

エ 使命3 陶芸を媒介としたネットワーク構築を推進する

陶芸祭、団体教室や出張教室を積極的に開催する事で、地域の様々な施設・団体と連携し、地域の作陶活動拠点としてのネットワーク構築に寄与します。

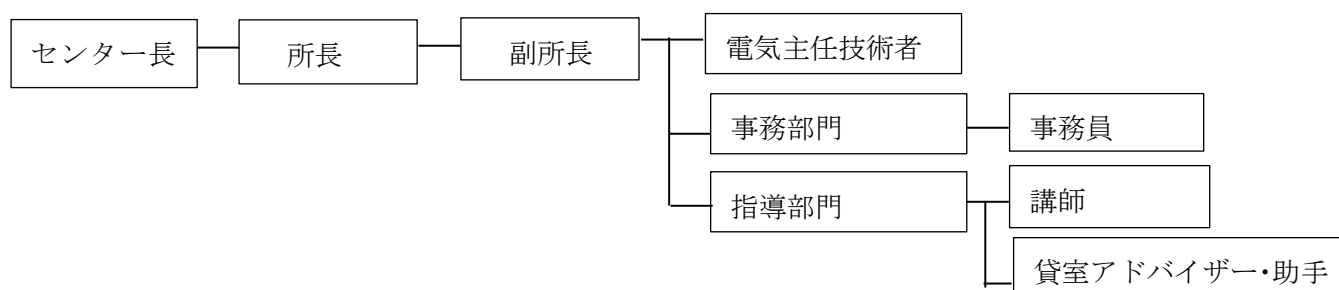
オ 使命4 持続可能性を高める施設運営を行う

令和5年度より引き続き、持続可能性を高める取組みとして、①日常的な施設建物・設備の点検②環境に優しい施設維持管理③効率的な運営の努力を行い、施設の安全・快適な維持管理と安定的な施設運営を目指します。

4 運営組織の構造、人員配置

項目	人数	備考
センター長	1人	全体総括責任者
所長	1人	事業・運営・管理・個人情報管理・全業務現場責任者
副所長	1人	講座運営企画・施設維持管理・備品管理責任者 緊急時所長代行・緊急時講師代行 防火責任者・広報・講師事務総括（事務、指導部門との調整）
事務員	2人	受付業務、ローテーション勤務
講師	11人	教室の指導、一部アドバイザー・助手兼務 ローテーション勤務
貸室アドバイザー・助手	6人	一部講師、助手兼務、ローテーション勤務
電気主任技術者	1人	電気設備点検・維持・管理

<組織図>



事務員、講師、貸室アドバイザー、助手をローテーション勤務体制とし、講座運営に支障のないようにする。職務分担の徹底により効率的な業務遂行を行う。事務部門、指導部門との円滑な連携を図るため、講師も兼任できる技量をもつ社員を1名配置します。

5 令和6年度の業務の取組

(1) 文化事業

令和6年度は①、②、③、④、⑤、⑥を重点的に取組みます。

- ① 子供オープンスタジオ等、次世代育成に関する講座を開催します。
- ② 新規利用者や既存利用者の制作意欲向上のため、新規素材、技法の「チャレンジ講座」を開催します。
- ③ 団体教室を年間通して開催し、様々な団体の受け入れに対応します。
- ④ 市内の公益的作陶活動に対する情報提供や相談対応等に積極的に取組み、陶芸知識発信による基地化を進めます。
- ⑤ 陶芸祭を開催し、知名度向上に努めます。
- ⑥ 近隣施設と連携し、『作陶と点前体験』『陶磁器と植物』を企画検討します。陶芸を媒介としたネットワーク構築を推進します。

(2) 施設運営

令和6年度は①～⑥を重点的に取組みます。

- ① 貸室及び自主事業の利用者数について、年間11,486人を目指します。
- ② 赤水対策工事のため28日間、施設点検3日間、年末年始6日間休館以外は適切な施設運営のため年間328日の開館とし、利用者の便宜を図り利用促進に努めます。
- ③ 利用率増加のため、新規釉薬・粘土の導入に取組みます。
- ④ 利用者アンケートを活用した利用者サービス向上と利用を促進します。
- ⑤ 限りあるスペースを最大限活用し、施設スペースの有効利用に取組みます。
- ⑥ 組織的な施設運営、効率的業務遂行、適切かつ効果的な勤務体制の確立に努めます。

(3) 施設管理

令和6年度は①～③を重点的に取組みます。

- ① 施設、設備等の適切な管理のため、修繕が必要と思われる箇所を常に洗い出し、出来る限り自前修繕で対応しながら高額修繕に備え、事業運営に支障が出ないように努めます。
- ② 陶芸センター周辺の環境を常に意識し、建物及び登り窯の管理に当たります。
- ③ 汚泥量調査を実施し、適切な汚泥管理、環境維持に努めます。

(4) 収支

令和6年度は安定的な運営を行うため、魅力ある講座の開催、効率的な業務システムの構築、日常点検による小破修繕、在庫管理の徹底を重点的に取組みます。

(5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

令和6年度は日報、月間事業報告書、業務計画書、業務報告書を作成・管理するとともに、自己評価を行い、業務改善に取組みます。

(6) その他

令和6年度は法令の遵守、個人情報保護、情報公開について、適切に対応するとともに、横浜市との連絡調整を密にし、円滑な業務遂行に取組みます。

※5 (1)～(6)の具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

6 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 使命1 陶芸に親しむ機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	総来場者数	10929人	11000人				13000人	
2	次世代育成を目的とした事業の実施回数	5回	5回				7回	
3	各事業のターゲット設定(初心者、中級者等)及び事業参加者数に対するターゲットとなる参加者の割合(アンケート集計)	82%	60%				80%	
4	参加者の満足度(アンケート調査)	94%	70%				80%	
★	体験型教室	気楽に一日陶芸体験(手びねり)	7回/年	7回/年			7回/年	
			108人	84人			84人	
		気楽に一日陶芸体験(電動ロクロ)	7回/年	7回/年			7回/年	
			117人	84人			84人	
		ゴールデンウィーク陶芸体験(手びねり)	5回/年	5回/年			5回/年	
			77人	60人			60人	
		ゴールデンウィーク陶芸体験(電動ロクロ)	5回/年	5回/年			5回/年	
			75人	60人			60人	
		ゆったり丸一日陶芸体験	7回/年	7回/年			7回/年	
			104人	84人			84人	
	5回/年	5回/年				7回/年		

		夏休み親子陶芸教室	97人	100人				140人	
6★	基礎型教室	陶芸入門4日間講座	5回/年	5回/年				5回/年	
			141人	120人				120人	
		陶芸入門3日間講座	1回/年	1回/年				1回/年	
			24人	18人				18人	
		陶芸入門2日間講座	1回/年	1回/年				1回/年	
			10人	12人				12人	
7★	自律型教室	自由作陶教室(10回コース)の開催	4回/年	4回/年				4回/年	
			5380人	6358人				6720人	
		第2自由作陶教室(10回コース)の開催	4回/年	4回/年				4回/年	
			243人	328人				328人	

イ 定性指標(★は提案者が提案した指標)(実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
		達成指標	実績
1	参加者の意見聴取及び分析	R 4 実績	実施
		R 5 達成指標	実施
		R 5 実績	実施
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	実施
		R 8 実績	

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

幅広い年齢層に広く情報発信(周知)を行い、指標人数達成を目指します。アンケート調査や利用者、指導現場スタッフの声を聞き取り、毎回改善点を分析し、利用者の満足度向上と講座内容の見直しに努めます。

(2) 使命2 市民の主体的な作陶活動を支援する

ア 定量指標(★は提案者が提案した指標)(実績は各年度終了後に記載)

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	
1	貸館（貸室） 利用者数		3698 人	3920 人				4480 人		
2	作陶に関する専門技 能や知識習得につな がる事業の実施回数		22 回	17 回				20 回		
3	利用者満足度 （アンケート調査）		91%	70%				80%		
4 ★	追 求 型 講 座	全国やきもの講座	3 回/年	2 回/年				4 回/年		
			126 人	70 人				140 人		
		還元焼成講座	4 回/年	4 回/年				4 回/年		
			270 人	300 人				300 人		
		大物焼成講座	12 回/年	12 回/年				12 回/年		
			14 人	24 人				24 人		
作陶展	1 回/年	1 回/年				1 回/年				
5 ★	専 門 技 能 習 得 講 座	電動ロクロ水挽き 徹底講座	1 回/年	1 回/年				2 回/年		
			39 人	24 人				48 人		
		絵 付 講 座	上絵付 （3 日間コー ス）	1 回/年	1 回/年				1 回/年	
				27 人	18 人				18 人	
		染付 （1 日間コー ス）	1 回/年	1 回/年				1 回/年		
			9 人	6 人				6 人		
		招待作家講座	未実施	1 回/年				1 回/年		
			0 人	14 人				14 人		

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の 状況につ いての現	R 4 実績	実施
		R 5 達成指標	実施
		R 5 実績	実施

状把握 (利用者 との意見 交換等)	R 6実績	
	R 7実績	
	R 8達成指標	実施
	R 8実績	

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

利用者が継続して陶芸に楽しみ、横浜に居ながら全国のやきものに触れる機会を提供します。陶芸産地の粘土・釉薬を気楽に体験できるように、様々な粘土・釉薬・焼成方法を取り入れた企画を実施し、指標達成を目指します。

(3) 使命3 陶芸を媒介としたネットワーク構築を推進する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	技術向上、指導力養成、出張教室を実施した回数	3回	2回				5回	
2	地域の施設・団体等と共催・連携して実施する事業数	16事業	10事業				15事業	
3 ★	支援型講座	指導者研修講座	2回/年	2回/年			2回/年	
			38人	48人			48人	
		団体教室(通常プラン)	9回/年	5回/年			8回/年	
			141人	150人			240人	
		団体教室(オーダープラン)	3回/年	5回/年			7回/年	
			49人	150人			210人	
		出張教室	1回/年	1回/年			3回/年	
			8人	15人			45人	
4 ★	共催	三溪園共催企画(作陶展)	2回/年	1回/年			1回/年	

企画		71人	30人				30人	
	本牧市民公園、 地域商店街との 共催企画	1回/年	1回/年				1回/年	
	楽焼体験教室 (陶芸祭体験)	1回/年	1回/年				1回/年	
	目標利用者数	25人	20人				20人	
	手びねり体験教 室(陶芸祭体 験)	1回/年	1回/年				1回/年	
		18人	16人				16人	
	電動ロクロ体験 教室(陶芸祭体 験)	1回/年	1回/年				1回/年	
		20人	16人				16人	
	陶芸文化鑑賞講 座 (隔年開催)	隔年開 催のた めR4無 し	1回/年				1回/年 隔年開催 R7実施予定	
		隔年開 催のた めR4無 し	15人				15人	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
		達成指標	実績
1	連携したことによる関係者の意見聴衆及び分析	R4実績	実施
		R5達成指標	実施
		R5実績	実施
		R6実績	
		R7実績	
		R8達成指標	実施
		R8実績	

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

いつでも気軽に陶芸についての質問・疑問に対応できるように、常時電話・メールでの受付を実施します。支援型講座は夏休み期間に設定し、子供や平日利用が難しい一般の方向けに講座日程を設定し、指標達成を目指します。

(4) 使命4 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目		R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数		0件	0件				0件	
2	法定点検等の実施率 100%		100%	100%				100%	
3	修繕予算の執行率 90%以上		99%	90%				90%	
4 ★	日常的な施設建物・設備の点検	施設建物目視点検	毎日	毎日				毎日	
		陶芸道具類のメンテナンス、在庫管理	週1回	週1回				週1回	
5 ★	環境に優しい施設維持管理	粘土・釉薬の再生(リサイクル)	月2回	月2回				月2回	
		粘土・釉薬を直接下水に流さない	毎日	毎日				毎日	
		排水溝・桝掃除	年2回	年2回				年2回	
		登り窯(レプリカ)の適切な管理	年9回実施	2ヶ月1回				2ヶ月1回	
6 ★	効率的な	早めの計画	週1回	週1回				週1回	

運営 の努 力	業務マニユア ルの見直しと 改善	年 1 回	年 1 回				年 1 回
---------------	------------------------	-------	-------	--	--	--	-------

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使 いやすさ や快適さ についてのヒアリ ング	R 4 実績	実施
		R 5 達成指標	実施
		R 5 実績	実施
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	実施
		R 8 実績	
2	管理運営 費推移の 要因分析	R 4 実績	実施
		R 5 達成指標	実施
		R 5 実績	実施
		R 6 実績	
		R 7 実績	
		R 8 達成指標	実施
		R 8 実績	

ウ 使命 4 を達成するために重点的に取り組む事項

施設・設備の毎日の見回り点検による小まめな修繕を行います。定期的な施設の維持管理を確実に実施し、効率的な運営を行うために改善点を分析し、指標達成を目指します。

令和6年度 「横浜市陶芸センター」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,041,019		20,041,019		20,041,019	横浜市より
利用料金収入	2,850,000		2,850,000		2,850,000	貸室利用料・貸室焼成費
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入	16,550,000		16,550,000		16,550,000	自主事業講座料・自主事業焼成費、自由教室・貸室粘土代・釉薬代
雑入	725,000	0	725,000	0	725,000	
印刷代	5,000		5,000		5,000	コピー代金
自動販売機手数料	120,000		120,000		120,000	
駐車場利用料金収入			0		0	
その他（ ）	600,000		600,000		600,000	受取利息・陶芸材料売上・雑収入
収入合計	40,166,019	0	40,166,019	0	40,166,019	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	15,739,019	0	15,739,019	0	15,739,019	
給与・賃金	13,419,019		13,419,019		13,419,019	
社会保険料	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
通勤手当	750,000		750,000		750,000	
健康診断費(福利厚生)	70,000		70,000		70,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	3,113,500	0	3,113,500	0	3,113,500	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	600,000		600,000		600,000	
会議賄い費	7,500		7,500		7,500	
印刷製本費	760,000		760,000		760,000	広告宣伝費・チラシ・パンフレット
通信費	350,000		350,000		350,000	電話料金・郵便料金
使用料及び賃借料	436,000	0	436,000	0	436,000	
横浜市への支払分	220,000		220,000		220,000	目的外使用料・ごみゼロルート回収費
その他	216,000		216,000		216,000	駐車場契約料
備品購入費	500,000		500,000		500,000	事務用品他
図書購入費	20,000		20,000		20,000	陶芸ライブラリー用蔵書
施設賠償責任保険	60,000		60,000		60,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	陶芸教材用テキスト他
振込手数料	60,000		60,000		60,000	
リース料	110,000		110,000		110,000	電機炉・コピー機・電動ロクロ
手数料	180,000		180,000		180,000	ホームページ・メイン管理・会計ソフト・ホト料・ネットバンキング
地域協力費	0		0		0	
事業費	12,500,000	0	12,500,000	0	12,500,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費			0		0	
自主事業費	12,500,000		12,500,000		12,500,000	陶芸材料仕入れ・業務委託料
管理費	5,284,290	0	5,284,290	0	5,284,290	
光熱水費	1,520,000	0	1,520,000	0	1,520,000	
電気料金	900,000		900,000		900,000	三相・200V、単相・100V電気料金
ガス料金	220,000		220,000		220,000	プロパンガス・灯油窯用灯油代金
水道料金	400,000		400,000		400,000	
清掃費	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
修繕費	500,000		500,000		500,000	備品・設備費
機械警備費	400,000		400,000		400,000	
設備保全費	664,290	0	664,290	0	664,290	
空調衛生設備保守	410,000		410,000		410,000	定期保守点検・室内送風機洗浄他
消防設備保守	88,000		88,000		88,000	
電気設備保守	150,000		150,000		150,000	電気炉他保守点検・電気設備取付・保守
害虫駆除清掃保守	11,000		11,000		11,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	5,290		5,290		5,290	松葉清掃・排水汚泥取納袋
共益費			0		0	必要に応じて支出
公租公課	1,700,010	0	1,700,010	0	1,700,010	
事業所税			0		0	事業所床面積と従業員数が標準に満たないため
消費税	1,700,000		1,700,000		1,700,000	実績に基づく試算
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	10		10		10	受取利息からの納税分(国税)
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,829,200	0	1,829,200	0	1,829,200	
本部分	1,069,200		1,069,200		1,069,200	本社労務管理費等
当該施設分	760,000		760,000		760,000	そのほかの事務用品費
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	40,166,019	0	40,166,019	0	40,166,019	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	16,550,000			0		講座料・焼成費・粘土代
自主事業費支出	12,500,000			0		業務委託費・陶芸材料仕入
自主事業収支	4,050,000			0		

管理許可・目的外使用許可収入	720,000			0		陶芸用小道具売上・自動販売機売上手数料
管理許可・目的外使用許可支出	220,000			0		目的外使用料・ゴミゼロルート回収費
管理許可・目的外使用許可収支	500,000			0		